

令和7年9月17日

徳島大学 放射線総合センター
三好 弘一 様

北海道大学
アイソトープ総合センター
事務室 黒須 有彩
〒060-0815
札幌市北区北15条西7丁目
TEL: (011)-706-6087

拝啓 時下ますますご清栄のことと心よりお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ご依頼いただきました外部評価の報告書（サイン済）をお送りいたします。
ご査収のほどお願いいたします。

敬具

記

<送付書類>

徳島大学放射線総合センター外部評価報告書 4枚

以上

徳島大学放射線総合センター外部評価報告書

令和7年9月12日

放射線総合センター評価シート

1) センターの運営状況について以下の観点からご評価ください。

(個々の項目につき、A～C の該当するものに丸印をお願いします。A: 良好である、B: 平均的である。C: 改善を要する)

- ・ 運営体制 ☒ A B, C]
- ・ 施設及び設備 ☒ A B, C]
- ・ 利用状況 [A, ☒ B C]
- ・ 管理状況 ☒ A B, C]
- ・ 研究支援状況 ☒ A B, C]

上記の評価に加え、センターの運営状況について簡単なコメントをお願いします。

- ・ センター教職員 6 名による週例のミーティングを行うことで、施設及び設備の維持管理も含めて、良好な運営が行われている。
- ・ 当初予算配分に加えて、学長裁量経費の配分を受けて、施設・設備の維持や更新が行われている点は、センターだけでなく、大学の安全重視の姿勢としても評価できる。
- ・ 利用者数は徐々に減少しているとのことであるが、これは全国的な傾向である。近年、一部の医療用 RI を除いて、全国的に RI の利用が減少している。このような状況の下で、Lu-177 や Cu-64 等、今後の利用増が見込まれる医療用 RI の利用許可を取得し、共同利用を開始している点は高く評価できる。
- ・ 利用状況に関しては、利用者数に加えて、利用料金収入の推移を解析することで、より実証的な利用状況の変化を把握できる可能性がある。実際、利用者数は減少しているにもかかわらず、使用料収入は増加している。
- ・ 正規職員 4 名の内、3 名が放射線取扱主任者免許を有しており、放射線施設としての管理状況は良好である。また、ビデオカメラを用いた RI 管理区域への入退管理や、管理書類のペーパーレス化などの社会的ニーズに合致した取組として評価できる。
- ・ 放射性同位元素利用報告会の開催、汚染状況報告書の作成と情報共有など、利用者間の情報共有など、利用者間のコミュニケーション促進は、安全かつ有効な RI 取扱技術の共有に繋がる取組として興味深い。

2) センター教職員の主たる活動について以下の観点からご評価ください。

(個々の項目につき、A～Cの該当するものに丸印をお願いします。A: 良好である、B: 平均的である。C: 改善を要する)

- ・ 学内における放射線安全管理業務 ☒A, B, C]
- ・ 教育訓練活動 [A, ☒B, C]
- ・ 研究活動 ☒A, B, C]
- ・ 放射線啓蒙活動 ☒A, B, C]

上記の評価に加え、センター教職員の主たる活動について簡単なコメントをお願いします。

- ・ 放射線業務従事者管理システムをセンター内で自作し、定期的及び随時事務担当者への説明を行っている点は、学内放射線作業従事者の安全管理業務を効率的かつ柔軟に行う上で、非常に有効な活動である。一方、このようなシステムの維持には、技術の維持・継承が重要であり、この点についても検討を進めていく必要がある。
- ・ 教育訓練活動については、座学に加えて実習も提供している点は、教育効果の観点からも重要である。
- ・ 既に廃止されたR I施設の放射線取扱主任者との連携を継続し、放射線安全管理を行っている点は他の大学等にも参考になる良好な事例である。
- ・ 放射線教育・管理に加えて、放射線・R Iに関する研究を実施し、継続的に学会発表・論文発表を行っている点は高く評価できる。教員一人当たりの発表論文数も増加傾向である。
- ・ 公開講座である「マンスリー放射線講座」を毎月開催している点は特記すべき活動である。これは放射線啓蒙活動として非常に有効であると考えられる。可能であれば、オンデマンド教材として蓄積することで、さらに有効な利用が期待できる。

3) その他の状況・活動の該当する項目について以下の観点からご評価ください。

(個々の項目につき、A～Cの該当するものに丸印をお願いします。A: 良好である、B: 平均的である。C: 改善を要する)

- ・ RIの利用拡大に向けた活動 [(A) B, C]
- ・ 外部資金の獲得状況 [A, (B) C]
- ・ 外部研究者の利用状況 [A, (B) C]
- ・ 地域のRI拠点の状況 [(A) B, C]

上記の評価に加え、その他の状況・活動の該当する項目について簡単なコメントをお願いします。

- ・ 前述のように、Lu-177やCu-64等、今後の利用増が見込まれる医療用RIの利用許可を取得している点は、RIの利用拡大に向けた活動として評価できる。
- ・ RI購入資金の援助は非常にユニークな試みとして、興味深い。これまでRIを使用したことのない研究者に援助し、RI実験へのハードルを下げる効果が期待できる。
- ・ 外部資金の獲得状況は、当該センターの規模・教職員数を勘案すると、平均的な状況であると考ええる。
- ・ 外部研究者の利用状況は、センターの立地条件（近隣に企業や研究施設が少ない）を勘案すると、平均的な状況と考えられる。全国から外部利用者を獲得するためには、特徴的な研究資源を提供する必要があるが、このような状況の下、九州地区からの外部利用者を獲得している点は評価できる。
- ・ 四国RI施設ネットワーク会議や企業とのRI施設会議を開催するなど、地域のRI拠点として積極的に活動している。
- ・

令和7年9月12日

久下 裕司

久下 裕司

北海道大学アイソトープ総合センター 教授